



手城小だより

福山市立手城小学校
2025年(令和7年)
6月13日(金)

【学校教育目標】自他を認め合い、主体的に生きる力をもった児童の育成

「自己決定」するのは、何のため？

ルールやマナーが守れなくて、地域の方に迷惑をかけているということがあったため、全校集会を開き、こどもたちに考えさせました。

生徒指導主事からの話

- ・学校や地域でのルールやマナーをしっかりと守ろう
- ・まわりの人に迷惑をかけないように、「自分で考えて判断」できる人になろう

6年生はさっそく学年集会を開きました。

6年生担任からの話

- ・「自己決定」するのは、自分の生活をよりよいものにしていくため
- ・よりよい決定を繰り返すことで、自分の住む町をよりよく変えることができる
- ・まずは、手城小学校をよりよい学校に変えていく自分になろう

教室に戻り、一人一人が自分にできることを考えました。

- ・「あいさつのできる学校」にしたい。そのために、集合場所で下級生に自分からあいさつをしていきます。
- ・「みんなで協力し合える学校」にしたい。手伝ってほしいときには、「手伝って。」と自分から声をかけるし、手伝ってほしいと言われたときには、進んで手伝おうと思う。
- ・「きれいな学校」にしたい。そのために、自分から進んでごみを拾ったり、ポスターを作って呼びかけたりしたい。
- ・「きまりを守る学校」にしたい。そのために、身だしなみが整っていない人がいたら、「ボタンを留めようね。」とか「シャツを入れてね。」と優しく声をかけたい。

～ 6年児童 ～

考えるだけではなく、自分にできることを考え、判断し、実行する！

この営みを続けることが大切です。引き続き、手城小学校みんなで取組を続けます。

縦割りそujeで、学校★ピッカピカ★

1年から6年までの児童がいるグループを作り、そのグループで掃除をします。6年生がリーダーとなって、グループの下級生に指示を出し、みんなで協力し合って本気で掃除に取り組んでいます。



自分で考える→やってみる→振り返る→うまくいかなかったときは修正・改善

このようなサイクルを繰り返すことは、子どもたちの学びにとても大切なことだと考えています。本校では、さまざまな経験を重ねながら、こどもたちの「自己決定力」を育んでいきます。

私たち教職員は、保護者の皆様・地域の皆様と共に、全力でこどもたちの学びを見守り、支える応援団であり続けたいと思っています。